

203 イエスの復活(1) He Is Risen

福音の三要素① 福音の三要素② 福音の三要素③
 <金曜日深夜:逮捕→午前9時:磔刑→正午:暗闇→午後3時:死→日没午後6時:埋葬→安息日→復活>
 マタイによる福音書 28:1~4、ルカによる福音書 24:1~8、ヨハネによる福音書 20:2~10

▶開かれた墓 (マタイによる福音書 28:1~4) 安息日が終わった日曜日

01 さて、安息日が終わって、週の初めの日の明け方 (→日曜日の早朝) に、①マグダラのマリアと
 ②もう一人のマリアが、墓を見に行った。

02 すると、(イエスが死んだ時と同じように) 大きな地震が起こった。主の天使が天から降って近寄り、
 石をわきへ転がし (ローマの権威[封印]や祭司長たちの企てを粉碎し)、その上に座ったのである。
 03 その姿は稲妻のように輝き、衣は雪のように白かった。(=から)

04 (それを見た) 番兵たちは、恐ろしさのあまり震え上がり、(腰が抜け) 死人のようになった。

【参考】聖書に登場する「マグダラのマリア」

タイトル(書名)	章 節 聖 句 [検索対象総数: 11 / 聖句等の総数 33250 <マグダラのマリア>11個] [検索語彙: マグダラのマリア]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
S マタイによる福音書	27:56 その中には、マグダラのマリア、ヤコブとヨセフの母マリア、ゼベダイの子らの母がいた。	
S マタイによる福音書	27:61 マグダラのマリアともう一人のマリアとはそこに残り、墓の方を向いて座っていた。	
S マタイによる福音書	28:1 さて、安息日が終わって、週の初めの日の明け方に、マグダラのマリアともう一人のマリアが、墓を見に行った。	
S マルコによる福音書	15:40 また、婦人たちも遠くから見守っていた。その中には、マグダラのマリア、小ヤコブとヨセの母マリア、そしてサロメがいた。	
S マルコによる福音書	15:47 マグダラのマリアとヨセの母マリアとは、イエスの遺体を納めた場所を見つめていた。	
S マルコによる福音書	16:1 安息日が終わると、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、イエスに油を塗りに行くために香料を買った。	
S マルコによる福音書	16:9 [イエスは週の初めの日の朝早く、復活して、まずマグダラのマリアに御自身を現された。このマリアは、以前イエスに七つの悪霊を追い出していただいた婦人である。]	
S ルカによる福音書	24:10 それは、マグダラのマリア、ヨハナ、ヤコブの母マリア、そして一緒にいた他の婦人たちであった。婦人たちはこれらのことを使徒たちに話したが、	
S ヨハネによる福音書	19:25 イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻マリアとマグダラのマリアとが立っていた。	
S ヨハネによる福音書	20:1 週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。	
S ヨハネによる福音書	20:18 マグダラのマリアは弟子たちのところへ行って、「わたしは主を見ました」と告げ、また、主から言われたことを伝えた。	

マグダラのマリアの名前は、彼女がガリラヤ湖の西端の町マグダラ出身であることを表す。他の福音書には、イエスが彼女を癒したことが記されている。

→ルカによる福音書 8:2~3a

悪霊を (イエスにより) 追い出して病気をいやしていただいた何人かの婦人たち、すなわち、七つの悪霊を追い出していただいたマグダラの女と呼ばれるマリア、(イエスと共に宣教の手伝いをした) ヘロデの家令クザの妻ヨハナ、それにスサンナ、そのほか多くの婦人たちも一緒であった。



▶復活する（ヨハネによる福音書 20：1）

週の初めの日、朝早く（→日曜日の早朝）、まだ暗いうちに、④マグダラのマリア（→マタイ 28：1＝マグダラのマリアともう一人のマリア）は墓に行った。そして、墓から（封印をした）石が取りのけてあるのを見（て、イエスの遺体が盗まれたと思い、慌て）た。→⑤マグダラのマリアは墓の中に入っていない。→最初にマグダラのマリアが墓に真っ先に着き、少し後に遅れて、他の婦人たち（第二グループ）も到着したことが、ヨハネとルカの記述④⑤から理解できる（∴記述内容の誤りではない）。

▶天使の語りかけを受ける婦人たち 1（ルカによる福音書 24：1～8）

婦人たち（→マグダラのマリアと他の婦人たち）は、安息日に掟に従って休んだ。

（以下、マグダラのマリア以外の婦人たちに起こった出来事である）

01 そして、（マグダラのマリア以外の⑥婦人たちも）週の初めの日の明け方早く（→日曜日の早朝）、準備しておいた香料を持って墓に行った。

02（しかし、墓を見守っていた番兵たちはどこにもおらず、墓を）見ると、（封印をした）石が墓のわきに転がしてあり、03 中に入っても、主イエスの遺体が見当たらなかった。→⑦少し後に遅れて来た他の婦人たちは中に入り、墓の中の状況を確認をしている。

04 そのため（戸惑い、動揺し）途方に暮れていると、輝く衣を着た二人の人（→マルコ 16：5 白い長い衣を着た[一人の]若者 NIV/NKJV：a young man dressed in a white robe sitting on the right side＝天使）がそばに現れた。

→マグダラのマリアはすぐに行動に移した（ヨハネ 20：2～）が、後から墓に着いた婦人たちは、途方に暮れ、茫然自失（あっけにとられて、我を忘れてしまっている様子）となっていた。そこに眩いばかりの衣を着た二人（マルコ 16：5 では、一人の若者 a young man）の天使が現れたのである。

英語版聖書 INV、NKJV を見ると、「a young man dressed in a white robe sitting on the right side」、つまり、「右手に座っている、白い長い衣を着た一人の若者」が婦人たちに語ったと記しているように、実際に、婦人たちの前に現れた天使は二人である。

→マルコによる福音書 16：5

墓の中に入ると、白い長い衣を着た若者が右手に座っている（→「右手に座っている、白い長い衣を着た一人の若者」と翻訳した方がベター）のが見えたので、婦人たちはひどく驚いた。

NIV：As they entered the tomb, they saw a young man dressed in a white robe sitting on the right side, and they were alarmed.

NKJV：And entering the tomb, they saw a young man clothed in a long white robe sitting on the right side; and they were alarmed.

05 婦人たちが恐れて地に顔を伏せると、二人は言った。

「⑧なぜ、（あなたがたは）生きておられる方を死者の中に捜すのか。

06⑨あの方は、ここにはおられない。⑩復活なさったのだ。⑪まだガリラヤにおられたころ、（あの方が）お話しになったことを思い出しなさい。

07 人の子は必ず、罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活することになっている、と言われたではないか。」

NIV：‘The Son of Man must be delivered over to the hands of sinners, be crucified and on the third day be raised again.’”

NKJV：‘The Son of Man must be delivered into the hands of sinful men, and be crucified, and the third day rise again.’”

→福音の三要素：①死、②埋葬、③復活

▶天使の語りかけを受ける女性たち2（マルコによる福音書 16：6～7）

若者（→天使）は言った。

「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なさって、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である（→ここが、あの方の納められていた場所です）。さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる』と。」

→リビング・バイブル：その青年がおもむろに口を開きました。「そんなに驚くことはありません。十字架につけられたナザレのイエスを捜しているのでしょうか。あの方はもうここにはおられません。復活されたのです。ごらんなさい。ここが、あの方の納められていた場所です。

→「かねて言われたとおり」⇒マタ 26：32、マルコ 14：28

1. マタイによる福音書 26：32 しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く。」
2. マルコによる福音書 14：28 しかし、わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く。」

▶天使の語りかけを受ける女性たち3（ルカによる福音書 24：8）

08 そこで、婦人たちはイエスの言葉を思い出した。（彼女たちもイエスの弟子たちと同じようにイエスの復活の預言を忘れていたのである。）

（以上、マグダラのマリア以外の婦人たちに起こった出来事である）

▶使徒たちに報告する女性たち他（ヨハネによる福音書 20：2～10）

02 そこで、（イエスの体が盗まれたと思い込んでいる、マグダラのマリアは激しい息づかいであえぎながら）シモン・ペトロのところへ、また、イエスが愛しておられたもう一人の弟子（→ヨハネ）のところへ走って行って彼らに告げた。

「主が墓から取り去られました。どこに置かれているのか、わたしたちには分かりません。」

03 そこで、ペトロとそのもう一人の弟子（→ヨハネ）は、外に出て墓へ行った。

04 二人は一緒に走ったが、もう一人の弟子（→ヨハネ）の方が、ペトロより速く走って、先に墓に着いた。

→特段、この文章は不要と思われるが、ヨハネは実際に起こった状況をリアルに記している。

05 （ヨハネが）身をかがめて中をのぞくと、亜麻布が置いてあった。しかし、彼（→ヨハネ）は（儀式的な汚れを恐れてか、）中には入らなかった。

06 続いて、シモン・ペトロも着いた。彼は墓（の中）に入り、亜麻布が置いてあるのを見た。

07 イエスの頭を包んでいた覆いは、亜麻布と同じ所には置いてなく、離れた所に丸めてあった。

→イエスが復活した記述で、これは以前、ラザロが蘇った場合の状況とは全く異なることが分かる。

→（ヨハネによる福音書 11：43～44）こう言ってから、「ラザロ、出て来なさい」と大声で叫ばれた。すると、死んでいた人が、手と足を布で巻かれたまま出て来た。顔は覆いで包まれていた。イエスは人々に、「（覆いを）ほどいてやって、行かせなさい」と言われた。

08 それから、先に墓に着いたもう一人の弟子（→ヨハネ）も（墓の中に）入って来て、見て、（主が復活したことを）信じた。

09 イエスは必ず死者の中から復活されることになっているという聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかったのである。

→リビング・バイブル：この時まで、イエスは必ず復活すると書いてある聖書のことばを、私たちはまだ理解していなかったのです。

→詩編 16：10

あなたはわたしの魂を陰府に渡すことなく／あなたの慈しみに生きる者に墓穴を見させず

10 それから、この弟子たちは（他の弟子たちにこれらのことを伝えるために）家に帰って行った。

【参考】ペトロ、ヨハネ、トマスの信仰

ペトロの信仰

ヨハネによる福音書 20：6～7 は次のように記している。

「続いて、シモン・ペトロも着いた。彼は墓に入り、亜麻布が置いてあるのを見た。イエスの頭を包んでいた覆いは、亜麻布と同じ所には置いてなく、離れた所に丸めてあった。」

ここの「見た」は、ギリシア語で「セオウレオウ」（英語の theater[劇場]の語源）が使われ、視覚的な認識に使われる言葉です。

この時点ではなく、ペトロは、後に、復活したイエスに実際に会って、初めて信じたのでした。

ヨハネの信仰

ヨハネによる福音書 20：8 は次のように記している。

「それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も入って来て、見て、信じた。」

ここの「見た」は、ギリシア語で「エイドス」が使われ、「深い意味を見た」という意味です。

ヨハネはペトロと異なり、この時点で、イエスを信じたのでした。

トマスの信仰

ヨハネによる福音書 20：25 は次のように記している。

そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」

また、ヨハネによる福音書 20：27～29 には次のように記している。

それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。

イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

トマスは、疑い深く、後に、復活したイエスを実際に見、触れるまで、信じることができなかった。

【注意】 ファイル No.209を開くには、次のパスワード(4桁半角数字)が必要になります。→【5328】